

salesforce

AXIES正会員様向け Slack特別プログラムご紹介資料

2026年3月 Update

株式会社セールスフォース・ジャパン



AXIES会員様向けSlack特別プログラム概要

Slackは教育支援プログラムとして有料プランを85%割引で提供しておりますが、この教育支援プログラムの申請・支払のお手続きについてご利用いただきやすくいたします。

従来

Slackの教育支援プログラムを活用するには

- Webのプログラム応募フォームからの申請
- クレジットカードによる支払い

が必要



AXIES会員様向け特別プログラム(特典内容)

- Webからの申請不要
 - 弊社発行の見積書兼注文書による注文
 - 請求書による支払い(銀行振り込み)
- が可能に。

本特典適用の前提として、[Slackの教育支援プログラム](#) に記載のプログラム対象団体であることが必要です。

本プログラム適用の条件

- **新規契約であること**
 - 既にクレジットカード払いされている契約の切替は対象外
- **数量: 1契約あたり20ライセンス以上**
- **契約期間: 1年間**
- **お支払: 請求書発行日翌月末までに 1年分一括のお支払**
 - 請求書は契約期間の開始日前日付けで発行
(例: 2026/4/1~2027/3/31の契約期間の場合は2026/3/31付の請求書発行、2026/4/30お支払期限)
- **契約更新: 自動更新**
 - **契約終了日の1ヶ月前までに解約・削減のご連絡がない場合は同内容で自動的に契約更新されます(1年間)**
 - 自動更新に関する見積書、注文書、納品書などの書類発行はございません
 - 自動更新される場合、新しい契約期間の開始日前日に請求書(PDF)が発行されます

見積・注文・請求に関するお手続き



	新規ご契約時(初年度)	更新時(次年度以降)
見積	見積書兼注文書をPDFにて発行	発行なし ※ライセンス数量増減がない限り ※ライセンス数量の増減がある場合は新たに見積書兼注文書の取り交わしが必要となるので契約終了日の1ヶ月前までに弊社宛てにご連絡ください
注文	見積書兼注文書に署名/捺印後、PDFで返却 DocuSignでの対応も可能	自動更新 ※特にお手続き無く次年度1年間で契約が更新されます
請求書	メールにて請求先に契約開始日前日の日付で通知	メールにて請求先に契約開始日前日の日付で通知
お支払い期日	請求書日付の翌月末までに一年分一括お支払い	請求書日付の翌月末までを一年分一括お支払い
納品書	発行なし	発行なし
領収書	発行なし	発行なし
ライセンス数量追加	随時可能(弊社宛てにご連絡 → 注文書による追加)	随時可能(弊社宛てにご連絡 → 注文書による追加)
解約・削減	契約期間中は不可(更新時に限り可能)	契約終了日の1ヶ月前までに弊社宛に連絡が必要

- 契約期間中のSlackライセンスの数量削減契約解約はできません。
- 契約更新時に限りSlackライセンスの数量削減/契約解約が可能です。契約期間終了日の1ヶ月前までに弊社宛てにご連絡をお願いします。ご連絡が無い場合は同内容で次年度の契約が自動更新されます。

お申込みおよび各種手続きスケジュール

お申込み受付期間、契約期間ならびにご請求/お支払のスケジュールは下表記載の通りとなります。

	申込期間(*1)	注文書発注期限(*2)	契約期間	請求書発行日(*3)	お支払期日 (銀行振込)
2026年 第一期	~2026年1月20日	2026/1/29	2026/2/1~2027/1/31	2026/1/31	2026/2/28
2026年 第二期	2026/2/1~2026/3/15	2026/3/25	2026/4/1~2027/3/31	2026/3/31	2026/4/30
2026年 第三期	2026/4/1~2026/6/15	2026/6/25	2026/7/1~2027/6/30	2026/6/30	2026/7/31
2026年 第四期	2026/7/1~2026/9/15	2026/9/25	2026/10/1~2027/9/30	2026/9/30	2026/10/31
2026年 第五期	2026/10/1~2026/12/15	2026/12/25	2027/1/1~2027/12/31	2026/12/31	2027/1/31
2027年 第一期	2027/2/1~2027/3/15	2027/3/25	2027/4/1~2028/3/31	2027/3/31	2027/4/30

1. 各期申込期間中に所定のメールアドレスにご連絡いただくことでお申込を受け付けいたします。(詳細次頁)
2. お申込み後、弊社所定の見積書兼注文書を発行しますのでそちらへの署名・捺印・弊社への返却を発注期限日までにお願います。
3. 請求書記載の日付(請求日)は請求書発行日と同日となります。請求日付は変更はできませんので予めご了承願います。

お申し込み方法

以下要領にてメールにてお申し込みお願いいたします。

宛先: 株式会社セールスフォース・ジャパン AXIES正会員様向け Slack特典専用窓口
slack-for-axies@salesforce.com

件名: AXIES会員向けプログラム Slack申込

記載内容

- お申し込み大学名
- プラン Pro / Business+ / Enterprise Gridのいずれか (詳細次頁)
- ライセンス数量 xx ライセンス (Slackをご利用になるユーザー数)
- ワークスペース情報 有償化するワークスペース名と URL (詳細次々頁)
- 請求先情報 氏名、メールアドレス、電話番号

* こちらにご指定のメールアドレスに請求書の PDFが送付されます

Slack料金プラン（年間） 2025年8月1日から

教育支援プログラム価格

	フリー	Pro	Business+	Enterprise +
定価（1ユーザー/年）税抜	—	¥1,665/年	¥3,456/年	¥10,368/年
ファイルストレージ	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし
国内データセンター指定	-	-	✓	✓
メッセージ表示・検索対象の上限	90日間	無制限	無制限	無制限
外部アプリ連携数の上限	10	無制限	無制限	無制限
ワークフロービルダー・ハドル等便利機能 ゲスト管理/Slackコネクト利用（外部連携）	-	✓	✓	✓
SAML-SSO認証連携/SCIM API	-	-	✓	✓
2要素認証	✓	✓	✓	✓
利用可能Workspace数	1	1	1	無制限
同一環境内のWorkspace間連携チャンネル	-	-	-	✓
全てのメッセージ抽出機能（管理機能）	パブリックchのみ	パブリックchのみ	全データ	全データ
データ損失防止（CASB/DLP） 電子証拠開示（e-Discovery）など 特殊な連携や情報抽出可能なAPI利用	-	-	-	✓
監査ログ分析・SIEMツール 連携用のAPI利用	-	-	-	✓
モバイルデバイス管理（MDM/EMM）連携	-	-	-	✓
ドメインクレーム（シャドー防止）	-	-	-	✓

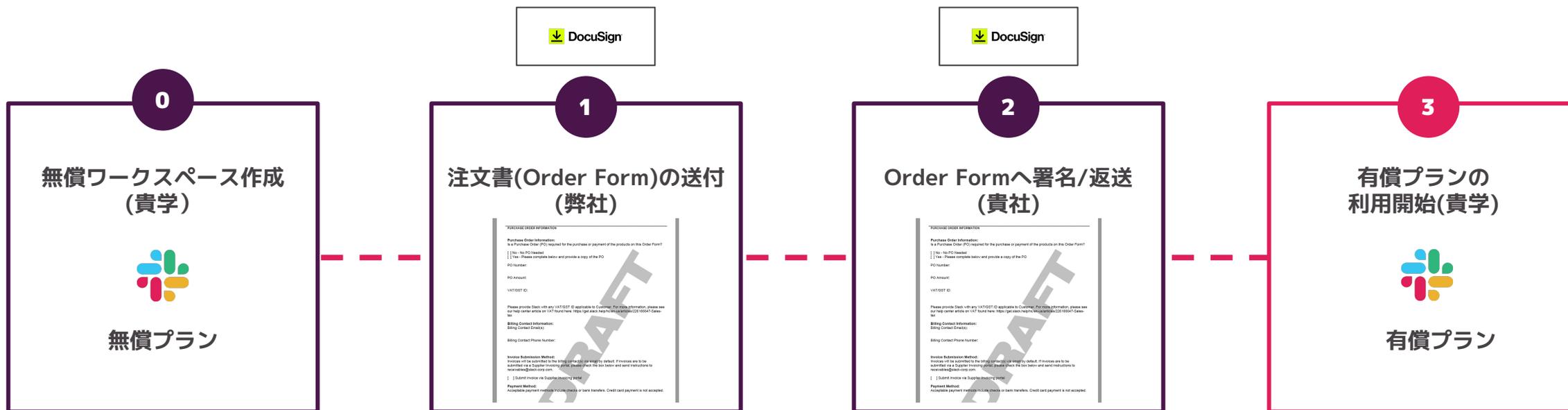


Slack プランの機能 - AI



カテゴリ	機能	フリー	プロ	ビジネスプラス	Enterprise+
要約	スレッドとチャンネルの要約		✓	✓	✓
	ハドルミーティング議事録		✓	✓	✓
	ファイルの要約			✓	✓
	まとめ			✓	✓
検索	Slack AI 検索			✓	✓
	エンタープライズ検索				✓
サポート	Slack のエージェント (Salesforce およびサードパーティー)		✓	✓	✓
	AI ワークフロービルダー			✓	✓
	ワークフロービルダーの AI ステップ			✓	✓

Slack環境作成の流れ



- 有償プランご契約前に無償版のワークスペース作成をお願いします。(有償化をご希望される無償版ワークスペースを既にご利用中の場合は新規の作成不要です)
- お申込み時にワークスペースの名前とURLをメールにご記載ください。
- 注文書(Order Form)に関してはDocuSignからお送りする形となりますので送付先 (To/CC) の方のご連絡先をご教示ください。(メールによるPDFでのやり取りも可能です)
- 注文書(Order Form)へのご署名後、ご契約開始日に合わせて「有償プラン」へアップグレードいたします。



無償ワークスペース作成の流れ

<ワークスペース作成方法>

- <https://slack.com/get-started#/createnew> に移動します。
- ご使用のメールアドレス（会社メールアドレス）を入力してから「続行する」を選択します。
- Slack から届いたメールにある確認コードをチェックします。
- コードを入力し、「ワークスペースを作成する」をクリックして表示される指示に従います。

<参考情報>

[Slack のはじめ方 — ワークスペース作成者編](#)

[Slack の使い方：クイックスタートガイド](#)



The screenshot shows the Slack sign-up interface. At the top is the Slack logo. Below it is the heading "最初にメールアドレスを入力してください" (Please enter your email address first). A sub-heading says "仕事用のメールアドレスがおすすめです。" (We recommend a work email address). There is an input field containing "名前@work-email.com". Below the input field is a purple button labeled "続行する" (Continue). Underneath the button is a checked checkbox with the text "Slack に関するお知らせをメールで受け取る。" (Receive Slack-related notifications by email). At the bottom, there is a small disclaimer: "続行することにより、Slack のカスタマー向けサービス利用規約、ユーザー向けサービス利用規約、プライバシーポリシー、および Cookie ポリシーに同意したものとみなされます。" (By continuing, you agree to the Slack customer service terms of use, user service terms of use, privacy policy, and cookie policy).



本件に関するお問い合わせ窓口



宛先: 株式会社セールスフォース・ジャパン AXIES正会員様向け Slack特典専用窓口
slack-for-axies@salesforce.com

プログラム申込み以外でも、プログラムの内容やSlack有償化ご検討に関するご質問など上記
窓口にてメールにてお問い合わせください。

コラボレーション × Slack

コラボレーションにAIを活用して教育機関のDXを推進



教職員の業務DX

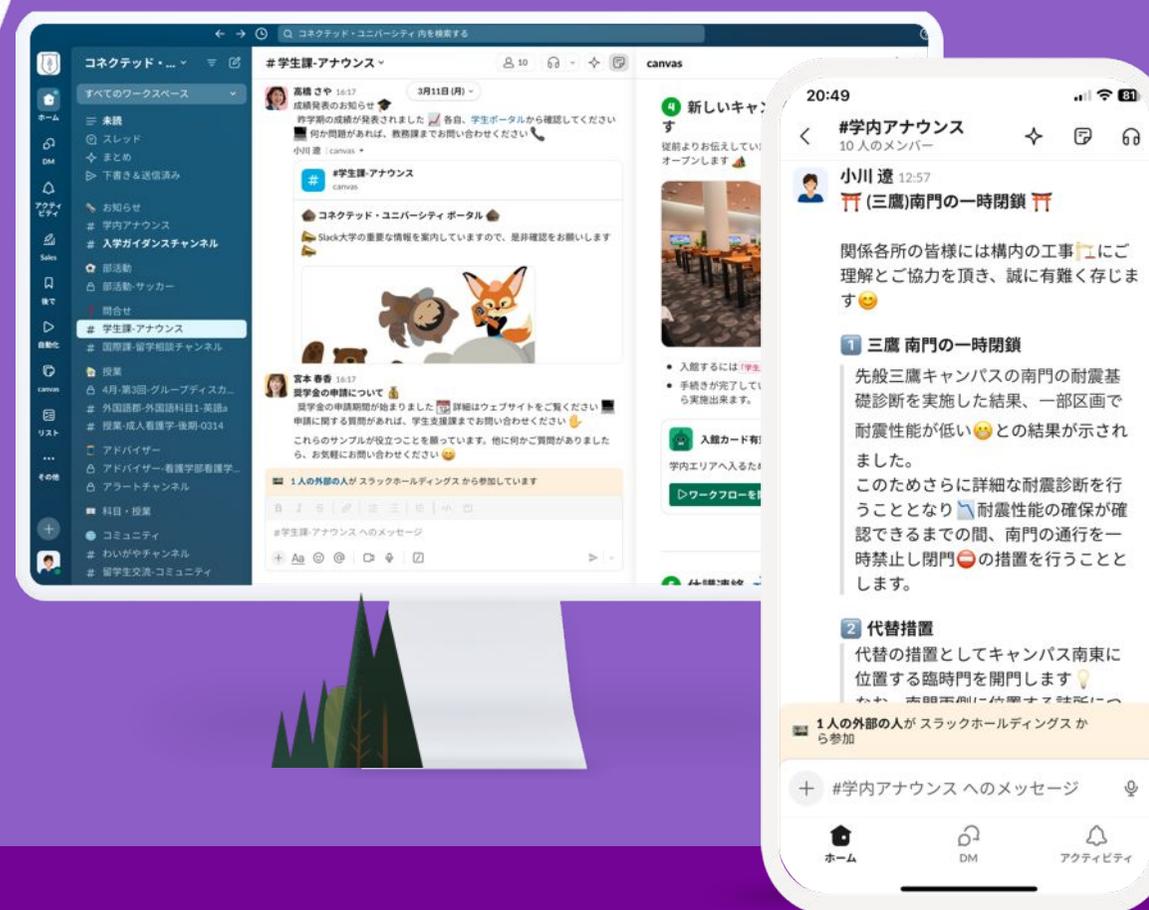
どこからでもコミュニケーションとコラボレーションを可能にすることで教職員の業務効率を向上し、相互の助け合いを実現

学生の学習DX

公式ツールとして提供することで、私用アプリとの切り分けを行い、学外のサポーターや企業、その他の団体との会話も可能

学校運営のDX

学内システムとの連携や、ノンコードでのワークフローにより学校運営プロセスのDXを加速



教職員の業務DX

教育/研究情報の蓄積

教職員同士の助け合い

学生の学習DX

公式DXツールの提供

産学官連携の基盤

学校運営のDX

学内システム連携

ボット活用

コラボレーション × Slack の特徴・ユースケース

Slack AIの活用で教育DXを推進する 教育機関のためのプラットフォーム



「履修登録の方法」にAIを活用した検索を試してみませんか？ [生成する](#)

✦ Slack AI の結果

2022年3月16日の時点で、履修登録の方法はどのように説明されていましたか？

パスワードを忘れた場合のリセット方法は、どう説明されていましたか？

2022年3月16日の時点で、履修登録の方法はどのように説明されていましたか？

[1]では、履修登録は学生ポータルから行うことができると説明されていました。パスワードを忘れた場合はパスワードリセットの手続きが必要だとも述べられています。

#pjt-23-015-自動走行に関する実証実験

Genko Takasugi 18:00 2023年6月7日

今日の検証状況はこちらの動画から確認できます。
3:28の箇所から実際に公道を走っていますが、左折時・右折時もスムーズに進んでいます。
宮野島_14実証実験_現地.mp4

スマートシティ構想実証実験の第三回目です。今回は実際に行動を走らせた状態で、右折左折時の挙動を確認しています。基本的にはこちらのパターンでもスムーズに走行が完了しています。

西原 裕太 18:04
こちら途中経過における報告書を作成しましたので、確認のほどよろしくお願いたします。
3人の外部の人が3つのオーガナイズーションから参加しています

#pjt-23-015-自動走行に関する実証実験へのメッセージ

スレッド

木ノ下 健三郎 10ヶ月前
自動運転レベル4の実証実験の経過報告です。
今回は公道での公道ルートでの検証ですが、いくつか再検証が必要な項目があります。
ただ概ね期待通りの結果となっていますので、スケジュールへの影響は軽微かと思っています。
Excel スプレッドシート

レベル4実証実験報告書_01.xlsx
Excel スプレッドシート

レベル4 自動運転に係る実証実験報告書
令和4年度

2件の返信

宮下 あかね 10ヶ月前
共有有難うございます。非常に素晴らしい内容ですね。
省内でも確認してレベル4サービス関係者間の役割分担のあり方について、後日改めて議論していきたいと思っています。

西原 裕太 10ヶ月前
ありがとうございます。自動走行ビジネス検討会の今回の議論にも盛り込みたいので、是非発表資料

ポイント

情報の検索・把握をAIでパワーアップ

- 学生の学習DXの観点では、個々人がプライベートで利用しているツールではなく、学校公式の連絡ツールとして配布することで、学生は公私の切り分けを容易に実現
- AIに対応したツールに普段から接することで、将来的なDX人材としての基礎の構築を支援

ポイント

産官学連携による研究・知識交流の加速

- 産学官連携のプラットフォームとして活用することで、安全かつ迅速に共同研究を進めることが可能
- 秘匿性の高いファイルをメールでやり取りしていたところから、Slackに切り替えることで情報漏洩リスクを減らしつつ、円滑にコミュニケーションを進めることが可能

THANK YOU

